

平成 28 年 5 月 9 日

各国立・公・私立大学長
その他関係諸機関長 殿

文教大学 文学部
学部長 宮 武 利 江
(公印省略)

教員の公募について (ご依頼)

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび本学部では、専任教員を下記募集要領により公募することとなりました。ご多用中誠に恐縮ですが、関係各位にご周知方ご配慮を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1、採用職種 教授 又は 准教授 1名
 - 2、所属 文学部 英米語英米文学科 【 専門分野 : 言語学 (英語学・言語学・外国語教育) 】
 - 3、担当科目 英語研究基礎演習Ⅱ、Academic Writing、英語教育学Ⅰ、英語演習Ⅳ、
英語教育学特講Ⅰ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、第二言語習得研究Ⅰ・Ⅱ 等
 - 4、応募条件 ① 修士以上の学位 (人文学の分野) を有し、言語学 (英語学・言語学・外国語教育)
の中でも、特に第二言語習得論を専門とした優れた研究業績があること。
② 英語に関連する分野での大学における教育・研究歴を有すること。
③ 大学院博士後期課程における授業及び論文指導を担当できることが望ましい。
 - 5、採用予定日 平成 29 年 4 月 1 日
 - 6、給与 本学園給与規程による
 - 7、提出書類 ① 履歴書 (写真貼付のこと) 1 通
② 教育研究業績書 1 通
③ 従来の教育及び研究内容の概説と今後の教育及び研究内容に対する抱負 1 通
④ 上記②に記載された業績のうち主要なもの 5 点 (抜き刷り、コピー可)
※ 注意 : ①②③は本学所定の様式を用いること。
※ 本学所定書式は、下記の URL よりダウンロードできます。
<http://www.bunkyo.ac.jp/gakuen/saiyo.htm>
※ 応募書類は原則として返却しません。返却をご希望の場合は、返却希望の書類を明記
の上、返信用封筒を同封してください。
 - 8、応募締切日 平成 28 年 7 月 1 日 (金) 必着
 - 9、選考方法 書類選考通過者には、平成 28 年 8 月 6 日 (土) 頃までに本人宛に通知し、9 月 4 日 (日)
に面接 (模擬授業を含む) を行います。
 - 10、提出先 〒343-8511 埼玉県 越谷市 南荻島 3337 文教大学 越谷校舎 総務課
※ 郵送のみ受け付け。封筒の表に「文学部 英米語英米文学科 (第二言語習得研究等担当)
教員応募書類在中」と朱書き、書留便とすること。
- 【問い合わせ先】 上記提出先と同じ。
電話 : 048-974-8811 FAX : 048-974-9439 E-mail : ksoumu@stf.bunkyo.ac.jp

※ 応募提出書類の個人情報については審査時の資料とする以外には使用いたしません。
併せて採用予定者については労務管理以外には使用いたしません。

以上

2016 年 5 月 19 日

関係各位 殿

南山大学人文学部長 吉田 竹也

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、南山大学人文学部において、下記の要領で専任教員を公募することとなりました。つきましては貴学関係者にご周知くださいますとともに、適任者のご推薦をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職名および人員 教授または准教授 1 名
2. 所属 人文学部日本文化学科
3. 専門分野 日本語教育
4. 担当科目 日本文化学演習、日本文化学基礎演習、日本語教授法、第二言語習得研究、日本語教育文法、日本語教育実地研究、共通教育科目
上記以外で大学院科目担当の可能性もあり。
5. 応募資格
 - (1) 専門分野に関する博士の学位を有すること。
 - (2) 日本語教育に関連した分野（とりわけ第二言語としての日本語の習得過程）について調査・研究するとともに、その結果を日本語教育の現場で生かせること。国内外の高等教育機関において外国語としての日本語教育の経験の有することが望ましい。
 - (3) 大学院科目を担当できること。博士後期課程での研究指導を担当できることが望ましい。
 - (4) 日本語を母語としない方は、学内の諸業務を十分に遂行できる日本語運用能力を有すること。
 - (5) 名古屋市内またはその近郊に居住できることが望ましい。
6. 採用予定日 2017 年 4 月 1 日
7. 応募締切 2016 年 7 月 11 日（月）必着
8. 応募書類
 - (1) 履歴書（大学卒業以降・写真貼付）
 - (2) 研究教育業績一覧：①著書 ②論文（博士・修士論文も含む） ③学会発表 ④教育活動 ⑤その他

(3) (2)に記載の各著書と論文(①および②)の概要:日本語で400字程度に要約し、論文については査読の有無、共著の場合には分担率(「分担率80%」等と表記)を記載してください。

(4) 著書、論文で主要なもの5点(抜き刷りまたはコピーも可。研究教育業績一覧には、該当する業績に○を付してください)

(5) 南山大学の日本文化学科において応募者が、これまでの経験も踏まえてどのような研究教育を行おうとするのかについてまとめたもの(2000字程度)

(6) 最終学位取得証明書(学位記のコピーも可)

9. 選考方法

書類審査後、最終選考に残った応募者に対して面接を行います。その際に専門分野についての模擬授業・講義を求めることがあります(面接のために要する旅費は自己負担となります)。

10. 書類送付先

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18

南山大学人文学部事務室「日本文化学科教員公募」係

(封筒の表に「公募書類在中」と朱書きの上、書留郵便やEMS等で送付してください)

問合せ先: 南山大学人文学部日本文化学科

メールアドレス: nihonbunka-jinji@nanzan-u.ac.jp

その他:

(1) 提出書類は一切返却しません。ただし、著書、論文等の現物が提出された場合には申し出により選考後に返却します(提出書類にその旨明記してください)。

(2) 最終選考に残った応募者に対して、書類審査後に、全研究業績の現物あるいはコピー、および健康診断書の提出を求めます。

(3) 必要に応じて追加書類の提出を求めることがあります。

(4) 応募において提出された個人情報は、本学の個人情報保護に関する規定に従って適正に管理し、人事選考以外の目的には使用しません。

2016 年 5 月 25 日

関係各位

同志社大学グローバル地域文化学部
学部長 圓月 優子

教員（英語任期付）の公募について（依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび当学部では、下記の要領で任期付教員を募集することになりました。

つきましては、貴関係者にご周知いただき、適任者の応募についてご配慮をいただきますよう、お願い申し上げます。

記

1. 任用職名：助教、准教授または教授
2. 担当科目：全学共通科目（英語）、および英語圏の文化・社会に関する専門科目
3. 採用人員：1 名
4. 任用期間：2017 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日の 5 年間（任用期間満了後の契約更新はしない）
5. 応募資格：
 - （1）英語を第一言語とする者、あるいはそれと同等の英語運用能力を持つ者。
 - （2）英語教育または英語文化圏に関する学問分野で修士以上の学位を有する者。
 - （3）博士課程前期（修士課程）修了後、大学またはそれと同水準の教育機関において、3 年以上の英語教育歴を有する者。
 - （4）校務遂行に必要な日本語運用能力を有する者。
 - （5）採用後、近畿圏に居住できる者。
 - （6）応募時点で 3 点以上の研究業績を有する者。
6. 義務時間および業務：
 - （1）授業担当は、今出川校地および京田辺校地における 1 週 16 時間（8 コマ）を最少基準とする。
 - （2）科目担当以外に、英語のカリキュラム運営に関する業務（教材作成、登録相談等）、学期末試験の監督（他教員の担当科目の応援監督を含む）、学生の英語能力向上を支援する業務（語学カウンセリング等）、国際交流に寄与する業務、広報・入学試験関連業務等を担当する。
7. 提出書類：
 - （1）履歴書・研究業績書および学校法人同志社内における職務経歴報告書、各 1 通。
書式は同志社大学ホームページを参照のこと。
（ダウンロード可 <http://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>）
 - （2）主たる研究業績 2 点（抜き刷り、コピー可）、およびその要約（英文で各 500 語程度）。
 - （3）応募理由書（これまでの教育実績および今後の教育研究計画を 1,000 語程度の英文にまとめたもの）を 1 部。
 - （4）授業評価記録、シラバス、表彰歴など、優秀な教育実績を証明できるもの（コピー可）。（任意）

- (5) 修了証明書（修士）もしくは博士課程修了証明書のコピー 1 部。
- (6) TESOL の資格保持者は、その証明書類（diploma または certificate）のコピー 1 部。
- (7) 日本語能力を証明する書類（日本語能力試験等）を有する者は、証明書類のコピー 1 部。
- 8. 応募締切日：2016 年 7 月 11 日（月）（必着）
- 9. 書類提出先：〒602-0898 京都市上京区烏丸通上立売上る
同志社大学グローバル地域文化学部
学部長 圓月 優子
注）封筒の表に「英語教員（任期付）応募書類在中」または
“Application Documents (Contract)” と記し、必ず書留便で送付
すること（宅配便可）。
- 10. 選考方法：
 - (1) 審査手続き
第 1 次審査：上記提出書類による業績審査。
第 2 次審査（9 月第 1 週～第 3 週）：第 1 次審査通過者にはその他の業績の提出を
求め、新たな業績審査および英語と日本語による面接審査を行う。面接審査は、
模擬授業および日本語読解力の簡単なテストを含む。
 - (2) 第 1 次審査通過者に対しては、第 2 次審査のための提出書類、締め切り日、
および面接日、面接場所を連絡する。
 - (3) 面接に際し、本学部所定の交通費を支給する。
 - (4) 選考結果については、選考終了後すみやかに本人に通知する。
 - (5) 上記 7 の選考書類は原則として返却しない。返却を希望する場合は、送付先を明
記した着払い伝票を同封のこと。
 - (6) 夏期休暇中に連絡先が変わる場合には、変更期間、変更先の住所、電話／ファッ
クス番号、E メール・アドレス等を記載し、必ず応募書類に同封すること。

同志社大学グローバル地域文化学部
電話：075-251-2610 Fax：075-251-2781
E メール：ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp
グローバル地域文化学部ホームページ：http://gr.doshisha.ac.jp/
同志社大学ホームページ：http://www.doshisha.ac.jp/

付記

提出いただいた書類は厳重に保管・管理し、審査終了後は責任をもって破棄いたします。
また、提出いただいた書類に含まれる個人情報、個人情報保護法に基づき、選考以外の
目的には使用いたしません。

以上

Limited-Contract Teaching Position, Beginning April 2017
English Division, Faculty of Global and Regional Studies, Doshisha University

May 25, 2016

The Faculty of Global and Regional Studies at Doshisha University in Kyoto will have one opening for a five-year limited contract position, beginning in April 2017.

Rank: Assistant Professor, Associate Professor or Professor, depending on qualifications

Contract period: From April 1, 2017 to March 31, 2022 (non-renewable)

Qualifications and application conditions (all of the following must be satisfied):

- 1) First language is English, or of equivalent English proficiency
- 2) Holder of a Master's degree or above in the area of English language education (TESOL) or in an academic field related to any English-speaking culture
- 3) At least three years' English teaching experience at the university level
- 4) Sufficient Japanese proficiency for general administrative tasks
- 5) Resident of the Kinki area of Japan during the contract period
- 6) At least three academic publications

Responsibilities:

- 1) Courses: English and/or culture-related courses, at all undergraduate levels and for all faculties in the university, at the Imadegawa and/or Kyotanabe Campuses
- 2) Teaching load: A minimum of eight 90-minute classes per week, spread over five days
- 3) Administrative responsibilities: Involvement in curriculum design and planning; study-abroad programs; language counseling; registration, invigilation and entrance examination marking duties

Application materials:

- 1) Curriculum vitae (履歴書, *rirekisho*), a list of academic publications (業績書, *gyosekisho*) and a list of your previous work experience within The Doshisha (職務経歴報告書, *shokumukeireki houkokusho*) [if not applicable, please write “なし”], for which the necessary forms can be downloaded from the University home page: <http://www.doshisha.ac.jp/en/doshisha/recruit.html>
- 2) Offprint/copy of two academic publications, with an English synopsis (about 500 words) for each publication
- 3) Statement in English (approximately 1,000 words), explaining your reasons for applying, including your personal philosophy/comments regarding teaching methods
- 4) Materials pertinent to your teaching prowess, such as student evaluations, syllabi, and awards. Photocopies are accepted.
- 5) Copy of diploma of highest degree achieved (Master's or Doctorate)
- 6) Copy of TESOL diploma/certificate (if available)
- 7) Copy of document(s) certifying qualification at a certain level of the JEES Japanese Language Proficiency Test or similar measurement of Japanese proficiency (if available)

Deadline for application: Application materials must arrive by Monday, July 11, 2016, via registered mail (*kakitome*) or commercial parcel delivery (*takuhaibin*).

Send application to: Professor Yuko Engetsu, Dean
Faculty of Global and Regional Studies
Doshisha University
Karasuma-dori Kamidachiuri-agaru
Kamigyo-ku, Kyoto 602-0898
Japan

N.B. Please print "Application Documents (Contract)" in red ink on the face of the envelope.

Please note the following with regard to the selection process:

- 1) After receipt of your initial application materials, we may request additional items.
- 2) Upon completion of the initial screening procedures, successful candidates will be interviewed in both English and Japanese and will be asked to give a demonstration lesson. Interview will be scheduled between the first and third week of September. At that time, we will request to see the originals of degree certificates/diplomas. During the interview, each candidate will also be briefly examined on his/her reading ability in Japanese.
- 3) For those candidates who are requested to come to Doshisha for an interview, partial funding for transportation costs may be available according to the Faculty's regulations.
- 4) Candidates will be notified of the results upon completion of the selection process.
- 5) In principle, application materials cannot be returned. Upon request, however, they will be returned by "pay on delivery." In such case, please specify "request return of documents" in red ink at the end of a list of academic publications (*gyosekisho*), and include a completed "pay on delivery" form of commercial parcel delivery (*takuhaibin*). Without it, we cannot undertake to return application materials.
- 6) Applicants should provide contact details if they plan to leave Japan during July, August and/or September, or if they change their address in Japan during the above period.

Faculty of Global and Regional Studies
Phone: +81-75-251- 2610 Fax: +81-75-251- 2781
E-mail: ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp
Faculty home page: <http://gr.doshisha.ac.jp/>
Doshisha University home page: <http://www.doshisha.ac.jp/information/index.html>

Application materials will be retained by the Faculty of Global and Regional Studies, and safely disposed of after the completion of the selection process. Personal information will not be used for any other purposes, in accordance with the Protection of Personal Information Law of Japan.

2016 年 5 月 18 日

関係大学学長殿
関係各位

東洋大学文学部長
矢口悦子

専任教員の公募について(依頼)

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学部では、下記の通り教員を募集致します。貴大学関係者への周知並びに適任者のご推薦について、宜しくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。 敬具

記

1. 募集する学科 文学部 英米文学科
2. 募集する職名 教授
3. 業務内容 教育業務、研究業務、入学試験関連業務、その他大学の運営にかかわる業務
4. 募集人員 1 名
5. 募集要件
 - (1) 英語およびアメリカ文学を専門分野とし、下記(2)の担当科目を担当できる研究・教育者を求めます。
 - (2) 担当科目
「英語 A/B」(文学部基盤科目)、「フレッシュマン講読セミナー A/B」(英米文学科専門科目)、「米文学特講 I A/B」(英米文学科専門科目)、「卒論セミナー VI」(英米文学科専門科目)、「米文学演習 A/B」(大学院科目)、「米文学特殊研究 I A/B」(大学院科目)、その他関連科目
 - (3) 博士の学位またはそれに相当する研究業績を有する者、大学院科目を担当できる者
 - (4) 英語で授業ができる者
6. 着任時期 2017 年 4 月 1 日
7. 提出書類 提出書類の形式は自由ですが、(2)(4)については A4 判にしてください。
 - (1) 履歴書(写真を貼付し、E-mail のメールアドレスもお書きください。なお、教歴には担当科目も記入してください。)
 - (2) 研究業績一覧(研究業績をリストアップし、主要研究業績の著書あるいは論文 3 点に○をお付けください。)
 - (3) 主要研究業績 3 点(著書は原本あるいはコピーで、論文は別刷あるいはコピーで提出してください。なお、それぞれに日本語 400 字程度の要旨をお付けください。)
 - (4) これまでの教育実績と本学及び学部・学科の教育に対する抱負(日本語 1000 字程度でお書きください。)
8. 待遇 本学規定による。なお、定年は 65 歳です。
9. 応募締切 2016 年 7 月 13 日(水)必着
10. 選考方法 第 1 次選考(書類審査)
※第 1 次選考合格者にのみ E-mail あるいは電話で第 2 次選考の日時等を直接連絡します。第 2 次選考に係わる交通費・宿泊費は個人負担となります。
第 2 次選考(公開模擬授業及び面接による審査)
※第 2 次選考合格者にのみ E-mail あるいは電話で最終面接の日時等を直接連絡します。最終面接(法人面接)
11. 書類提出先 〒112 - 8606 東京都文京区白山 5 - 28 - 20
東洋大学 文学部研究室事務室 宛
※「英米文学科アメリカ文学専任教員応募書類在中」と封筒に朱書きし、簡易書留で郵送してください。
※提出書類は原則として返却しません。提出書類の返送を希望する場合は、宅配便配送用封筒・着払い伝票(返送先を明記)を同封してください。なお、提出書類に記載された個人情報採用活動及び採用後の人事管理の目的の範囲内で使用します。
12. 問い合わせ先 この公募に関する問い合わせは E-mail で下記をお願い致します。
東洋大学文学部英米文学科 学科長 波多野満雄
E-mail: hatano@toyo.jp

JAPAN FOUNDATION



28TCE128

平成 28 年 5 月 31 日

関係大学学部長・研究科長 殿
関係機関の長 殿

独立行政法人国際交流基金

日本語試験センター

事務局長 村田 春文



拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より当センターの活動に多大なご理解、ご協力を賜りましてありがとうございます。

さて、当センターにおきましては今般、同封の募集案内にて「任期付日本語能力試験研究員」の公募を行うこととなりました。

つきましては、お手数ですが、学内・機関内にて募集内容の周知・共有にご協力頂きますようお願いいたします。また、指定履歴書書式データを含めて、同内容は国際交流基金のホームページ（国際交流基金を知りたい＞採用情報）でも案内しております。

ご不明点等ございましたら、以下までご照会下さい。

日本語試験センター試験制作チーム 研究員公募担当

TEL: 03-5367-1021

メール: js_saiyo@jpf.go.jp

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

敬具

独立行政法人国際交流基金日本語試験センター
任期付日本語能力試験研究員募集のご案内

【募集の目的】

独立行政法人国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、文化芸術交流、海外での日本語教育支援、日本研究・知的交流等の分野でさまざまな活動を行っております。

国際交流基金は、日本語事業の一環として1984年以来、公益財団法人日本国際教育支援協会と共催し、日本語を母語としない人を対象とした日本語能力試験(<http://www.jlpt.jp/>)を実施しています。2010年からは、課題遂行のための言語コミュニケーション能力を重視する新しい日本語能力試験を実施しており、全世界で60万人を超える人が受験しています。

今般、日本語能力試験の作成・分析、運営を行っている国際交流基金日本語試験センターの任期付日本語能力試験研究員を以下の通り募集します。

【募集内容】

1. 募集人数

「文字・語彙類」「文法類」「読解類」「聴解類」「問題評価類」それぞれ若干名

2. 身分

国際交流基金と業務委嘱契約を結び、任期付研究員として業務に従事します。

3. 業務内容

日本語能力試験の作題に関する業務及びその他付随業務

4. 主たる勤務地

場所: 国際交流基金日本語試験センター



住所: 東京都新宿区四谷4-3(東京メトロ丸の内線四谷三丁目より徒歩3分)

5. 待遇

- (1) 手当: 国際交流基金の規程に基づき、各人の学歴、経験等に従い基本手当、時間外手当、特別調整手当、扶養手当(該当する場合)、住居手当(該当する場合)、通勤手当、特別手当(賞与)を支給します。
- (2) 社会保険: 健康保険、雇用保険、厚生年金保険、労災保険に加入します。

6. 勤務条件

- (1) 勤務日: 原則として、月曜から金曜までの週5日勤務で、土曜、日曜、祝日を休日としますが、業務の都合上休日出勤を求める場合もあります(その場合は平日に代休取得)。
- (2) 休暇: 有給休暇制度有り(勤務開始月により調整あり)。
- (3) その他の勤務条件: 国際交流基金の定めるところに拠ります。

7. 委嘱予定期間

2016年10月1日～2017年9月30日(1年間)

※ 勤務開始日は応相談。契約期間は同開始日より1年間になります。

※ 任期中の勤務状況を評価の上、再委嘱することがあります。その場合でも最大5年を限度とします。

【応募資格】 次のいずれかに該当する者とします。

1. 大学又は大学院の日本語教育に関する課程の修了者
2. 大学、研究機関等で日本語教育の経験を有する者
3. 日本語能力測定等に関する専門性を有する者
4. 国際交流基金派遣専門家として1年以上の海外派遣又はこれに準ずる海外での日本語教育の経験を有する者

【応募方法】

指定履歴書書式は国際交流基金HPよりダウンロード下さい。(トップページ>国際交流基金が知りたい>募集・発表>採用情報>日本語試験センター任期付日本語能力試験研究員募集について)

1. 応募書類

(1) 日本語試験センター指定履歴書(写真貼付)

記入内容が多いなどの理由で書式がずれてしまう、枚数が多くなってしまふなどは構いませんが、記入項目については全て記載下さい。

(2) 業績資料

履歴書に記した業績一覧の内、著書、論文、制作した教材等の現物又はコピー1点(学位論文は除く)を提出下さい。返却を希望する場合はその旨も明記下さい。

(3) 志望動機書

2,000字以内(A4版用紙2枚以内、ワープロ打ち)で、次の点にも触れつつ志望理由を記して下さい。

- ✓ これまでの仕事の内容、専門、特に関心を持ってきたこと。
- ✓ 希望する類とその理由。また、希望類での問題作成において、自身のどのような能力、資質、経験が生かせるか。

(4) 推薦状1通

推薦者と本人との関係を明記下さい。また、推薦状は推薦者自らが封筒に入れた上で厳封下さい。

(5) 課題

【文字・語彙類】応募書類受領後、事前課題に取り組んでいただく場合があります。また、書類審査通過者に対し、第二次審査当日に問題作成に関する課題を実施します。

【文法類】応募書類受領後、事前課題に取り組んでいただく場合があります。また、書類審査通過者に対し、第二次審査当日に課題を実施します。

【読解類】応募書類受領後、事前課題に取り組んでいただく場合があります。また、書類審査通過者に対し、第二次審査当日に課題を実施します。

【聴解類】応募書類受領後、試験問題サンプルの試作に取り組んでいただく場合があります。

【問題評価類】応募書類受領後、事前課題に取り組んで頂く場合があります。

※ 提出書類は、(2)の返却希望と明記されたもの以外は返却しません。選考終了後は当方で責任を持って破棄いたします。

※ 第二次審査通過者には、上記に加えて、修了(卒業)証明書、健康診断書等の提出を求める場合があります。

2. 提出方法、提出先、提出期限

(1) 提出方法

「任期付研究員募書類在中」と朱書した封筒で、上記 1. 応募書類を以下(2)宛に郵送下さい。

(2) 提出先

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4 丁目 3 番 四谷トーセイビル 8 階
国際交流基金 日本語試験センター 研究員採用担当係

(3) 提出期限

2016 年 7 月 15 日(金)必着

【選考方法】

1. 一次審査(書類審査)

選考結果を 7 月末までにメールにて各応募者に通知します。

2. 二次審査

一次審査通過者に対して、8 月初旬～中旬を目途に面接(課題の口頭プレゼンテーション含む)を実施します。選考結果は、審査終了後 1 週間以内を目処にメールにて通知します。

【問合わせ先】

国際交流基金 日本語試験センター 研究員採用担当

Tel : 03-5367-1021 / Fax : 03-5367-1025 /  E-mail js_saiyo@jpf.go.jp

以上

2016 年 5 月 18 日

各関係大学長（学部長） 殿

各関係機関長 殿

法政大学文学部長

奥田 和夫

（公印省略）

専任教員の公募について

このたび本学部では、下記の要領により地理学科専任教員を公募することになりました。
つきましては、貴学（貴機関）関係者の方々にご周知下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 職名および人数 : 教授または准教授（1 名）
2. 所属 : 文学部地理学科
3. 採用予定日 : 2017 年 4 月 1 日
4. 専門分野 : 自然地理学（気候学）
5. 担当授業科目 : 文学部地理学科（含：通信教育課程）および大学院人文科学研究科
地理学専攻が設置する地理学関連科目等
6. 応募資格 : 博士の学位を有する者、もしくはそれと同等以上の能力を有する者
7. 応募書類 : (1) 履歴書（押印、写真貼付）／1 通
(2) 研究業績リスト／1 通
(3) 主要業績 3 点（別刷、コピーも可。それぞれについて 200 字程度の概要を記すこと。）／各 1 部
(4) これまでの研究の概要と今後の研究計画（1600 字程度）／1 通
(5) 教育活動への抱負（1600 字程度）／1 通
(6) 書類審査結果通知のための返信用封筒（返信先住所氏名を記入、82 円切手貼付）／1 通
上記の(1)～(5)の様式については、法政大学公式ウェブサイト・トップページ下方にある「採用情報」リンクから入り、「教員募集案内」からダウンロードしてください。
8. 応募締め切り : 2016 年 7 月 20 日（水）必着
9. 応募書類提出先 : 〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1
法政大学学務部学部事務課 文学部担当宛
（封筒の表面に「地理学科専任教員応募書類」と朱書きし、簡易書留で送付すること）
10. 選考方法 : 書類選考を行った後、面接等を実施することがある。
（面接に関わる交通費等は自己負担とする）。
11. 選考結果の通知 : 8 月中旬頃までに書類選考の結果を通知する。
12. 待遇 : 本学の学部教員給与規程に準ずる。
13. 問い合わせ先 : 法政大学学務部学部事務課（電話：03-3264-9334） jibun@hosei.ac.jp
14. その他 : (1) 教育歴のある場合は主要な担当科目名を履歴書に記すこと。
(2) 応募書類は原則として返却しない。
(3) 応募書類は厳重に保管し、審査終了後は破棄します。また書類に含まれる個人情報は、本選考の目的に限定して使用します。

以上

(公 印 省 略)
北九大学一第 76 号
平成 28 年 5 月 26 日

関係各位

北九州市立大学長 近藤倫明

教員の公募について（依頼）

本学文学部では下記の要領で専任教員を公募することになりました。御多用のところ誠に恐縮ですが、貴大学院及び関係機関等へお知らせくださいますよう宜しくお願い申し上げます。

記

- | | |
|--------|---|
| 1 担当分野 | 博物館学・文化資源論 |
| 2 担当科目 | 博物館概論、博物館資料論、博物館実習Ⅰ・Ⅱ（一部担当）、
世界の文化遺産（一部担当）、欧米文化概論（一部担当）、
比較文化入門Ⅰ・Ⅱ（一部担当）、演習A－Ⅰ・Ⅱ、演習B－Ⅰ・Ⅱ、
卒業論文、など |
| 3 採用職名 | 准教授 又は 講師（任期の期限なし） |
| 4 募集人員 | 1名 |
| 5 所 属 | 文学部比較文化学科 |
| 6 採 用 | 平成 29 年（2017 年）4 月 1 日（予定） |
| 7 応募資格 | (1) 修士以上の学位を有すること。
(2) 学芸員資格を有すること。
(3) 外国語を母語とする場合、日本語での教育と大学運営業務の能力
を有すること。
(4) 博物館美術館等で学芸職員（インターンを含む）としての勤務経
験を有すること。
(5) 本学科の学芸員資格課程の管理運営に積極的に関われること。
(6) 本学と地域文化施設との連携に積極的に取り組めること。 |
| 8 提出書類 | 年号はすべて西暦で記入してください。
(1) 履歴書 1 通
(2) 業績目録 1 通（主な著書、論文 3 点に○印をつけること）
(3) 主な著書、論文：(2) で○印をつけたものの現物またはコピー
各 1 部ずつ
(4) 現在の研究状況及び研究計画書 1 通（1000 字程度） |

(5) これまでの学芸活動の概要と特徴 1 通 (1000 字程度)

(6) 「博物館概論」か「博物館資料論」どちらか 1 科目の講義計画書
(15 回分) 1 通

9 応募期限 平成 28 年 (2016 年) 8 月 5 日 (金) 必着

10 選考方法 書類審査及び面接を行います。面接の際、30 分程度の模擬授業をしていただきます。

11 選考結果の通知 応募者全員に直接通知します。

12 勤務条件等 (1) 状況に応じて、夜間の授業や基盤教育科目、その他の科目、あるいは大学院の講義 (夜間開講) を担当していただくことがあります。

(2) 給与、勤務時間その他の勤務条件については、公立大学法人北九州市立大学職員就業規則その他の規程によります。

13 応募書類の提出先 〒802-8577 北九州市小倉南区北方 4-2-1

北九州市立大学文学部長 田中信利 宛

※ 封筒の表に「文学部 (博物館学・文化資源論) 教員応募書類」と朱書し、書留郵便で送付してください。

※ 著書・論文の返却を希望される方は、返送用封筒に切手を貼って同封してください。

14 問い合わせ先 北九州市立大学 学務第一課学部係 (文学部担当)

Tel 093-964-4036 Mail: bungakubu@kitakyu-u.ac.jp

歴博総人第96号

平成28年6月1日

関係機関の長 殿

大学共同利用機関法人人間文化研究機構

国立歴史民俗博物館長 久留島 浩（公印省略）

テニュアトラック助教の公募について（依頼）

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本館では下記公募要項によりテニュアトラック助教を公募することになりました。

つきましては、ご多忙中のところ誠に恐れ入りますが、関係各位への周知方よろしくお取り計らい願います。

なお、応募の際は、公募要項記載のホームページアドレスまたはJREC-IN（（独法）科学技術振興機構の研究者人材データベース）からダウンロードの上、ご使用いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

助教公募要項（総合資料情報学）【公募記号：2016-A】

助教公募要項（総合資料情報学）

国立歴史民俗博物館では、大学共同利用機関として歴史・考古・民俗及び関連諸科学による共同研究を推進し、その成果を研究論文及び展示などの形で広く国内外に公開している。

今回、文理を問わず歴史系博物館の資料情報の総合的な分析および研究を行うための専門能力をもつ研究者を公募する。歴史的な資料のデジタル化とその活用に関する研究を実践的に行った経験を持ち、博物館資料・研究資料から情報を取得し、国内外で活用可能な枠組みを作ることができる人材が望ましい。人文科学と自然科学、情報学など諸学との学際的共同研究を主宰し、本館の研究・教育・博物館活動を推進し得る者を求める。

【公募記号：2016- A】

1. 職種及び人員：テニュアトラック助教（研究教育職員）1名（テニュアトラックの期間：5年）
2. 待遇：期間満了日の9ヶ月前までに行う審査の結果、基準を満たしている場合は、期間満了日の翌日から任期の定めのない准教授として採用。
3. 応募条件：博士の学位を取得した者、または同等の研究能力を有する者。
研究業績の条件として、最近5年以内のファーストオーサーの論文または学会等発表3本以上を有すること。うちレフェリー付き論文を1本含むこと。学会等発表はレフェリー付きかつ予稿集が刊行されたものであること。
4. 応募期限：平成28年7月31日（日）（本館必着）
5. 採用予定日：平成29年1月1日
6. 選考方法：第一次選考として書類審査、第二次選考として面接試験を行う。ただし、適任者がいない場合は採用しない。なお、面接試験の旅費は本人負担とする。
7. 提出書類：下記の（1）～（5）は必須、（6）・（7）は任意。
 - （1）国立歴史民俗博物館教員応募出願書・・・・・・・・（別紙様式1）1部
 - （2）履歴書・・・・・・・・（別紙様式2）1部
 - （3）研究業績目録・・・・・・・・（別紙様式3）1部注1：主要な研究業績を新しいものから順に記入すること。
注2：「別紙様式1～3」については、ホームページからダウンロード可。
（アドレス：<http://www.rekihaku.ac.jp/others/employment.html>）
 - （4）審査を希望する単著かファーストオーサーの論文または学会等発表予稿あわせて2本。
注1：2本のうち必ずレフェリー付き論文1本を含むこと。学会等発表予稿はレフェリー付きであること。
注2：審査を希望するものは、最近5年以内で既発表のものに限る。ただし刊行または掲載が予定されている論文については、最終稿および発行者の掲載証明書等を添付すること。外国語の論文の場合は日本語訳を付けること。外国語の著書の場合は日本語による抄訳を2万字以内で付けること。
 - （5）国立歴史民俗博物館が進める「総合資料学」および、各地で行われている歴史的な資料の情報化の動向を踏まえた、総合的な歴史系博物館資料の情報化に関する抱負（A4・図表込み2枚程度）
 - （6）これまでの研究で作成したデータベースおよびアプリケーション等がある場合にはここに含め、本人の関与の度合いがわかる公刊された資料やWebサイトの情報（論文・URLや紙媒体の資料名など）を明示すること（A4・図表込み1枚程度）。
 - （7）推薦状（書式自由。密封すること。）

（注）提出された書類は返却しないが、（4）の著書等が原本の場合は返却する。
8. 書類提出先：〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地
人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館管理部総務課人事係 宛
※郵送の場合は、封筒の表に必ず「助教公募関係【2016- A】」と朱書きし、書留とすること。
9. 事務担当：管理部総務課人事係 電話 043-486-6472 または 4660

別紙様式 1

公募記号 : _____
(応募する公募記号をご記入ください)

国立歴史民俗博物館教員（テニュアトラック助教）応募出願書

年 月 日

人間文化研究機構
国立歴史民俗博物館長 殿

応募者氏名 _____ 印

テニュアトラック助教（総合資料情報学）の公募について応募をします。審査を希望する著書・論文は下記のとおりです。

記

審査希望著書・論文名

1. _____

2. _____

3. _____

別紙様式 2

履 歴 書

履歴書－ 1

年 月 日現在

ふりがな 氏 名			男・女	年 月 日生 (歳)	写 貼 真 付
ふりがな 現住所	〒				
TEL (自宅)					
TEL (勤務先)					
E-mail (任意記入)					
年	月	日	学 歴 (高校卒業から記入)		
年	月	日	職 歴 (常勤・非常勤及び期間を明記)		
年	月	日	海外研究歴 (場所・期間・身分・研究テーマ)		

履歴書－2

年	月	日	学 位 (修士及び博士号、授与大学名)
年	月	日	学会及び社会における活動等
年	月	日	賞 罰
年	月	日	免 許 ・ 資 格 (選考に関連するもの)
現在の健康状態 及 び 既 往 症			
上記のとおり相違ありません。 年 月 日 氏 名 _____ 印			

研 究 等 業 績 目 録

氏 名 _____

No. _____

著書, 学術論文等の名称 、	単著・ 共著の 別	発行又は 発表の年月	発行所, 発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1				
(学術論文) 1				
(その他の研究業績) 1				
プロジェクト名 又は研究題目	役割	従事した期間	参画した博物館・ 研究機関等の名称	概 要
(博物館・研究機関活動) 1				

※共著の場合は分担内容を明記すること